

## 英米の文学作品に見られる言語思想史的動詞の活用変化

後藤 弘 樹

現在でもアメリカの口語、俗語、方言の中にはイギリスの古い時代の英語語法が多数残存しているのが見うけられる。本稿で取り上げた動詞の活用変化の中には地域によって、例えば、アメリカの南部諸地域では古い時代（主に17世紀、18世紀）のイギリス英語の姿が垣間見られることがよくある。それも当時、極めて交通の便が悪く、文化の流入も滞りがちな人里遠く離れた南部の奥深い山間部では、特にそうである。現在も尚、イギリスのかつては正用法として用いられていた古い時代の英語語法が、急激な社会情勢の大変革から時代にそぐわなくなり、本国イギリスでは既に廃語廃用となった所謂古語がアメリカに多数残存していて、それが日常庶民の発話の中で今も尚用いられている。本稿では特に言葉の根幹をなす古い時代の動詞の活用変化（現在、過去、過去分詞）を英米の文学作品を通して検証することにする。

### 1. はじめに

今日のアメリカ英語の歴史は紆余曲折があってもそのルーツは古い時代のイギリス英語に繋がっているのは紛れもない事実である。まず、歴史的にアメリカ英語の成り立ちを概略する。1607年に北米最初の英国人の永続的定住地として Virginia 州の Jamestown に、次いで 1620年には子供34人を連れだつて英国国教会（The Church of England）に不満を抱いた総数102名の清教徒達（Pilgrim Fathers）の一行が新大陸に信仰の自由を求めて、入植した。彼らは9月6日にイングランド Devon 州の港町、プリマス港を出港して、凍てつき荒れ狂う真冬の大西洋をわずかに全長90フィート、180トンの小さな帆船、the Mayflower 号はまるで木の葉の如く大波に激しく翻弄されながらも、66日間の艱難辛苦の過酷な船旅の末に何とかやっとの思いで大西洋を渡りきり、12月21日に Massachusetts 州の Plymouth に無事に到着して、植民地を建設したのを皮切りに、以後続々と入植者達がイギリス各地から渡来して北米に入植地を建設し、当時彼らが住んでいた17世紀や18世紀のイギリスの言語をアメリカの入植地に移植したのが始まりである。そしてその後、特筆すべきは本国イギリスで1760年頃から19世紀にかけて機械・動力などの発明を契機として起こった産業革命（Industrial

Revolution) でそれまでの経済体制や社会組織上に一大変革が起こり、政治、経済、社会、文化は言うに及ばず、ほとんどあらゆる面で市民生活に大変革をもたらしたことであった。そして、言語（音韻、語彙、語法）の面でも大きな変革が起こり、新しい時代に適応した言葉遣いへと進んで行く過程で、進展する時代から取り残された古めかしい言葉遣いが新しい時代にそぐわなくなり、言葉の上で廃語廃用となっていたの間にか庶民の口に上らなくなり、社会から姿を消してしまったものが多数あった。しかし、両国の間に横たわる容易ならざる大西洋という大きな障害で阻まれたアメリカでは、イギリスから新しい文化の息吹の流入も滞り、長く停滞していたこともあって、アメリカには逐一母国イギリスの変革が直ぐには届かず、旧態以前のままの状態が長く続いた為に両国の言語の間には大きな歪みが生じてしまった。これが今日のアメリカ英語のごく大まかな言語の推移変遷の流れである。その為、両国の言語の上で生じた発音、文法、語彙、語法の顕著な違いからイギリス英語 (Britishism)、アメリカ英語 (Americanism) と呼ばれるに至ったのである。従って、イギリスでは既に廃語廃用となって社会から姿を消してしまった発音、文法、語彙語法が久しく時が経過しても、アメリカでは依然として古い時代 (17世紀や18世紀) の頃のイギリス英語がそのままの形で多数残存していて、今だに地域によっては昔ながらに当時の古いイギリス英語が、特にアメリカ南部諸地域では多く散見されることがある。

その要因を精査すると、1つには彼らが住んでいた地理的居住環境にあった。17世紀や18世紀の頃のアメリカ (特に南部諸州の人里遠く離れた、交通の便も甚だ悪く、人が容易に近づけないような奥地や山岳地帯) では、外界との接触ばかりでなく、人の往来や新しい文化の流入も容易に入らず、入植以来見知らぬ者には特に警戒心が強く、専ら宗教思想信条を一にする同郷の出身者達だけで固まって暮らす孤立的集団集落を形成して、厳しい自然の環境の中でただただひたすら聖書の熟読と神様 (イエス・キリスト, Jesus Christ) への祈りと感謝に明け暮れる日々を過ごす敬虔なキリスト教徒としての彼らのおかれた地理的居住環境に基づく暮らし方であった。又もう1つには公的な教育機関が未整備で未だ十分機能を發揮していない所が多々あった時代の為、子供達の教育は日常家庭の中でもっぱら両親の口から発する言葉使いが子供達にはそのまま言葉のお手本となり、親から子、子から孫へと代々イギリスの古い時代の言葉遣いが金科玉条として伝承され、日々のコミュニケーションで長年使用されてきたことに古い時代の言葉遣いが残存してきた一因があると考えられる。又そのような地域では古い時代のイギリスの言語ばかりでなく伝統や文化や風習さえも後生大事に受け継がれ、大切に保存されていることが多い。そこでイギリスの所謂この古語がアメリカの各地、特に南部諸地域で逞しく生き残っている様子を文学作品を通して一瞥することにする。但し、本稿では特に動詞の活用変化 (Conjugation) に注目してアメリカの口語や俗語・方言などに見られるイギリスの古い時代の動詞の活用変化を言語思想史の観点から英米の

文学作品を通して検証することにする。

## 2. 動詞の文法機能

英語には文法機能として動詞の活用変化に、現在時制、過去時制、過去分詞時制の3種類があり、又その個々の動詞の活用変化には規則変化活用動詞 (Regular Verb) と不規則変化活用動詞 (Irregular Verb) の2種類がある。しかし、狭義では動詞の活用変化の基礎となるのはあくまでも、現在 (Present)、過去 (Past)、過去分詞 (Past Participle) の3時制である。この3つの動詞の語形変化は言うまでもなく、それぞれその土地や地域の言語的特徴が色濃く出た言語変化が言葉の上に表れていて、それがその地方 (土地) の言語の基本となっている。本稿ではそれらを文献 (英米の文学作品) を交えて検証することにする。言うまでもなく16世紀や17世紀のイギリス国内では、全土で言語においてもまだ確率した統一や、共通した行き届いた学校教育指導体制も出来ておらず、従って16世紀や17世紀の地方の一般庶民は十分な教育も行き届いていなかったと思われる時代のこと故、特に動詞の語形変化などを例に挙げて、今日の学校文法 (School grammar) に照らして満足に活用変化をさせることなど出来るよしもなかった。丁度その時代に開拓者 (pioneers) として新天地アメリカに信仰の自由を求めて移住してきた人々は17世紀の母国イギリスの彼らの出身地域の言語を持ち込み、それを唯一の意志疎通をはかる言語手段として移住地域に移植したのである。しかし場所によっては持ち込んだ彼らの話す言葉 (英語) にもイギリスですら地域によっては大きな違いがあって、所が変わると外国語のようにすら思えることもあり、時には相互にコミュニケーションをはかることも当然の事ながら少々困難で、しかし不可能というわけではないにしてもしばしば手こずることがよくあった。このような状態が新大陸のアメリカでイギリスからの移住者達が住む各地域で散見された。このことが基本的には今日のアメリカの各地域方言 (北部、南部、中部、西部) の特色と違いを構成するもととなっている。次はその様子を描写した例である。

“Ever’body says words different,” said Ivy. “Arkansas folks says ’em different, and Oklahomy folks says ’em different. And we seen a lady from Massachusetts, an’ she said ’em differentest of all. Couldn’t hardly make out what she was sayin’.”

———John Steinbeck, *The Grapes of Wrath*.

更にもう少し具体的に付け加えて言うと、アメリカの各地域によってはそれぞれ顕著に他と異なる言語的特徴が一般庶民の発話の中に垣間見られる場合がある。次はアメリカ国内の代表的な言葉の特徴 (訛り) を地域別に記述した部分を文学作品から取り上げてみる。

He spoke with the flat ugly “a” and withered “r” of the Boston Irish, and Levy looked up at him, and mimicked, “All right, I’ll give the caaads a break, and staaart playing.”

——Norman Mailer, *The Naked and the Dead*.

“a”音や“r”音が間延びしたり、かすれたりするボストン地方のアイランド訛りを描写した例である。

Dad wouldn’t be hurried. “It seems to me,” he concluded in his flat New England twang, “that all you have to do is pick up a brick, put some mortar on it, and put it in the fireplace.”

——Frank B. Gilbreth, *Cheaper By the Dozen*.

抑揚の少ない鼻にかかったニューイングランド訛りの特徴を描写したもの。

“I’m so sorry that this had to happen,” she said in a slow Yankee voice, really and truly sorry.

——Ralph Ellison, *Invisible Man*.

ゆっくりとしたニューイングランド人特有の話し方。

This was the magistrate’s overriding basso; he had a broad New York accent.

——Saul Bellow, *Herzog*.

一般にニューヨーク市民 (New Yorker) は狭殺音 (narrow) を開口音 (broad) に発音する癖がある。例えば, Myrtle を Moitle, 33rd St. を Toity-toid Sreet と発音する類い。

Jeff was a tall, tobacco-colored, lithe man with old-world courtesy of manner, a southern drawl and light yellow eyes which saw in the dark and spotted every exit in a room before he crossed the threshold.

——Betty MacDonald, *The Egg and I*.

南部人特有の間延びした話し方。

My slow Southern ears were baffled by their clouded, thick accents.

——Richard Wright, *The Man Who Went to Chicago*.

アメリカ南部英語の特徴の1つは短母音を二重母音的に発音する所謂 “Southern drawl” (母音を延ばして発音する癖) がある。

本稿では基本となるこの3つの動詞の主要形である語形変化 (活用形) に照準を当てて、現在も尚アメリカ各地の俗語・方言や口語英語に残存しているイギリスの古い時代の動詞の主要な語形変化の形態に注目して歴史的に論を進めていくことにする。

### 3. 動詞の語形変化の歴史の変遷経緯

清水護編『英文法辞典』153ページによれば、動詞の活用(Conjugation)とは「叙述動詞(Predicative Verb)として用いられている動詞が、人称・数・態・時制によって語形変化をおこなうことを言う。」と述べられている。更に齊藤静著『英文法概論』§146には動詞の活用変化について詳しく記述されていて、「文法形式に用いる動詞語形の組織を活用と呼ぶ。活用語形は、その主語と数及び人称に於いて一致する定形と、かかる文法的限定を受けぬ不定形とに区分される。活用はその語形変化の様式により(a)強変化活用(Strong Conjugation)、(b)弱変化活用(Weak Conjugation)に二大別されるほか、この両者の混交によって生じた(c)混合変化活用(Mixed Conjugation)及び活用語形の不完全な(d)不完全活用(Anomalous Conjugation)に分けることが出来る。上記のうち(b)類は過去形とその過去分詞形とを-(e)d[id, d, t]によって作り、これを規則動詞と呼び、他の(a)、(c)、(d)を総括して不規則動詞と呼ぶことがある。語尾に-d、-tを有する弱変化類のうちにも、不規則な語形を有するものがある。」と実に詳しく説明されている。この場合、動詞の語形変化をさせる場合、一般庶民の心理的、思想史的背景にある一番大きな要因は彼らにとって複雑な文法規則にのっとりた動詞の語形変化をさせるのはこの上もなく非常に煩わしく困難であったので、心理的に出来るだけ簡単な、馴染みやすい、しかもあまり思考を煩わすことのない方策を無意識的に選ぶ傾向があった。一般的に言えば、文法的に複雑な語形変化をするよりは極力、とっつきやすく可能な限り簡単な、出来るだけ変化の少ない、いわば規則変化活用動詞となるパターンを無意識的に踏襲する傾向が古来より根強かったのは、人間の習性として避け難い自然な流れである。これは意識的、無意識的とを問わず極普通の自然な傾向ではないかと思われる。特に幼い子供達の教育も十分でない、しかも文明の香りから遠く離れ、一般社会から隔絶された、人里遠く離れた奥深い南部の山間部に居住する、年老いた人々の話す所謂俗語・方言の中に特にその傾向が強く窺われる。

余談ではあるが、これにいささかなりとも関連して、アメリカでの学生生活で思い出されることは、筆者がミシガン大学大学院に留学中、運命の悪戯か、巡り合わせなのか、アメリカ第35代大統領、John Fitzgerald Kennedy(1961-63)氏が来校され、Student Union(学生会館)のテラス(terrace)の上に立って学生達を前にして、Peace Corps(開発途上国へ援助要因を派遣するアメリカの政府機関による平和部隊)の提唱を高らかに宣言されたのが今も脳裏に焼き付いていて、強く印象に残っている。痛ましいかな、まさかの迫り来る運命を知るよしもない同氏は1963年テキサス州北東部の都市ダラス(Dallas)で選挙遊説中に不幸にも凶弾に倒れ、再び意識は戻ることなく帰らぬ人となってしまった。そのニュースを大学のキャンパスで耳にしたときは愕然として言葉を失い、驚きのあまり身体の震えが止まら



なかった。それ程大変大きな衝撃を受けたことを覚えている。国中がやるせない、物苦しい雰囲気に包まれ、人々は打ちひしがれ、まるで奈落の底に突き落とされたかの如く、耐えがたい悲しみにくれていたことが未だに忘れられないでいる。勿論、筆者も筆舌に尽くしがたい大きな衝撃を受けたことを覚えている。しかし、何時の世も人々の如何なる喜びや悲しみも何の戸惑いも、銜いも無く、又躊躇することもなく一切を瞬時に飲み込み、まるで何事も無かったかのように、無情にも時空を越えて一瞬たりとも回転する歴史の歯車は止まることなく回りつづけている。

このことは、何のためらいもなく無造作に全てを飲み込んでしまう点で言語の歴史的推移変遷過程も、これに似た所があるように思う。まだ幼い就学前の7～8歳位の近所の幼ない子供達の会話（話し言葉）を聴いていると、決まって過去のことを表現する際に、無意識にしかも無道さに原形動詞の語尾に過去を表す接尾辞“-ed”をつけてその動詞を規則変化させる傾向がある。例えば、“It began to rain.”（雨になった。）を“*It began* to rain.”或いは“*He ran* away.”（彼は逃げ去った。）を“*He runned* away.”というように幼児期の子供達は“-ed”で過去を表す類推からか“begin”や“run”の原形動詞の語尾に“-ed”をつけて“*beginned*, *runned*”などと、話している子供達の発話を幾度か聴いたことがある。その都度その子の母親は直ぐに“*No, honey, (it began to rain, 或いは he ran away), you see.*”と教え、訂正していたのを見聞きしたことがある。まだ十分な教育も文法の知識もない幼児期の成長発達段階にある子供達にすれば、動詞を文法規則にのっとして、“begin, began, begun; 或いは run, ran, run”と不規則変化させるのは煩わしく、大変困難であるので、しかも修学前のまだ文法知識が十分身につけていないためにこのように無意識に過去を示す接尾語として、“-ed”をきまって原形動詞の語尾に付けて規則変化させる方が、話し手として一番手っ取り早い言葉の自然な発話行為であると思う。因みにこの表現は、Joan Houston Hallの*Dictionary of American Regional English*, I, p. 207; IV, p. 668によれば、いずれも“*chiefly or, especially South, South Midland*”方言と表記されている。

一般にこのような言語現象は往々にして特に、教育も極めて乏しく、その上、かつては新しい文化の流入もままならなかった、人里遠く離れた奥深い山岳地帯に住む南部の貧しい高齢者層の人々や就学前の幼児期の子供達の発話などによく見られる言語現象でアメリカの俗語、方言の中に原形動詞の語尾に“-ed”を添加して過去形を表す造語形式に端的に表れており、このことは下記に引用するFries先生が*American English Grammar* (pp. 60-61)で触れている通りである。これも心理的、思想史的に無理からぬ、ごく自然な人間の心理的精神構造からくる発話行為であるように思う。こうした動詞の語形変化を歴史的に辿れば、各方言（北部、南部、中部、西部地域）の使用者（話者）の祖先がその昔イギリスのどの地域からアメリカに移住して来たか、又そこに住む人達の経済的格差や職種や教育水準の違い及

び年齢層によっても多少の違いはあるものの、今日でも歴然と各地の地域方言に残っていることからそれとなくうなずけるのである。

動詞の3主要形の活用変化は歴史的観点から分類すると、古代英語時代 (Old English) には強変化活用 (Strong Verb) と弱変化活用 (Weak Verb) があり、これは中世英語時代 (Middle English) においても全く変わりがなかったが、現代英語 (Modern English) では記述的観点から分類して、通常、規則変化活用動詞 (Regular Verb) と不規則変化活用動詞 (Irregular Verb) に分けられる。規則変化活用動詞とは、例えば、“acted” のように原形動詞 “act” の語尾に過去を示す接尾語 “-ed” を添加して活用変化をさせる動詞のことを指す。それ以外の動詞は全て不規則変化活用動詞に含まれる。

当時ミシガン大学の教授、Charles Carpenter Fries 先生が現在アメリカ英語の動詞の活用変化 (Conjugation) の動向を歴史的に、統計的に研究した貴重な名著、アメリカ英文法の研究書 *American English Grammar* (pp. 60-61) によれば、古代英語 (Old English) 時代には不規則な活用変化をする動詞の数は312あり、そのうち現代英語 (Modern English) にまで残っている古い強変化動詞 (old strong verbs) の数は195で、このうち129が規則活用変化に推移していて、残りの66が不規則変化活用動詞として今日に至っており、現代英語に残っている195のうち過去と過去分詞が同型の動詞は153もあると述べている。因みにその件を *American English Grammar* (pp. 60-61) から引用すると、

Of the 312 verbs which were originally strong in Old English, 195 or 62 per cent continue in Modern English in some form. Of those that continue in Modern English 129 or 66 per cent have been adjusted in forms to the regular (weak) pattern; only sixty six or 34 per cent retain strong forms. Of the 125 that continue in Modern English, 153 or 78.5 per cent have a similar form for both the simple past tense and the past participle.

——Charles Carpenter Fries, *American English Grammar*.

河合茂著『英文法概論』(308ページ)はこの Strong Verb が英語において現在のように減少した理由として、下記の6つの理由を挙げている。

- (1) 多くの Strong Verb が英語において使用されなくなったこと。
- (2) 多くの Strong Verb が Weak Conjugation を採るに至ったこと。
- (3) Noun 或いは他の品詞から Verb に転用された Verb が Weak Conjugation を採ったこと。
- (4) Foreign Verb が大抵 Weak Conjugation を採ったこと。

(5) Analogy の作用。

(6) Norman Conquest の結果、文章用語が有識階級の言語となり、英語は一般民衆の言語となった結果、文書用語の保守的な力が少なくなったこと。

本稿ではこれらの史実に基づいて俗語・方言を含む現代アメリカ口語英語で用いられている動詞の活用変化を幾つかのパターン別に分類して述べることにする。とりまなおさず現代アメリカ英語の原点は、分かりやすく言えば、17世紀にイギリスの各地域から入植が始まったアメリカに、母国イギリスの古い時代の各地域で話されていた移住者達の言語 (mother tongue) を新大陸に移植したことに始まる。とりわけ17世紀や18世紀に、ロンドンで当時共通語として一般庶民が最も普通に用いていた言語を持ち込み、それが細々ながらも各地域に伝播して、受け継がれて今日に至っているということが出来る。いわばアメリカ英語の原点はその当時の頃のイギリスの地方方言を含めて、主としてロンドン界隈で話されていた英語に遡ることが出来ると言っても決して過言ではない。その頃、イギリス、ロンドンで華々しく活躍していたのが当時を代表するシェークスピア (William Shakespeare, 1564-1616) であった。彼は当時ロンドンで話されていた庶民の言葉である英語を使って数多くの不朽の名作を書き表した。そして彼が用いて書き表した言語が色々な形で現代英語の中に浸透し、各地に伝播して口語英語や俗語・方言の中に今も脈々と息づいている。現代アメリカ英語においても又然りである。

一般にイギリスのどこの家庭にも必ずあるとされているものに聖書とシェークスピアの本が挙げられている。それだけに聖書やシェークスピアの英語の浸透力は庶民の間に大きな影響があった。従って、現代アメリカ英語の今日ある姿を読み解く鍵として、中世時代 (12-15世紀) を代表する英詩の父と称される Geoffrey Chaucer (1340?-1400)、その代表作は *The Canterbury Tales* (「カンタベリー物語」) から、更に何はさておき初期近代英語期 (Early Modern English, 1500-1650)、即ちエリザベス朝期の英語 (1558-1603) を代表するイギリスの国民的大劇作家で詩人のシェークスピア (William Shakespeare, 1564-1616) が書き表した作品の中で使われている英語語法にたどり着く。それ故、当時の言語の姿を浮きぼりにして、現代英語にその面影を深く、色濃く留めているシェークスピア英語の貴重な事例を適宜抽出して、動詞の活用変化の実態と流れを検証していくことにする。言うまでもないが、その全ての動詞の活用変化を本稿で取り上げて網羅することは到底紙面の制約上無理からぬことであるので、主として出来るだけ最小限、主な重要な事例に限定して例示し、論じることにする。

#### 4. 動詞の活用変化 (Conjugation)

市川三喜編『英語学辞典』(227ページ)によれば、「規則変化活用動詞は本来 OE の弱変



化から発達したもので、過去・過去分詞の語尾は OE “-ed (e)” に由来し、OE 以来弱変化動詞の他、フランス語・ラテン語その他の外来動詞を含む」と説明されている。

#### 4-1 規則変化活用動詞と不規則変化活用動詞

##### (1) 規則変化活用動詞 (Regular Verb)

一般に強変化動詞は不規則変化活用動詞に、弱変化動詞は規則変化活用動詞に対応するとされているとはいえ、厳密に言って、必ずしも全てが全て必ずしもこれに当てはまるものではないので、広義の意味から論じることにする。即ち規則変化活用動詞とは過去、過去分詞形が同じで、動詞の語尾が“-ed”で終わる活用変化動詞のことを言う。動詞の大半がこれに属する。例を挙げると、

ask ; ax    axed    axed

“ax (= ask)”の語源は OE “ascian, acsian, axian”

H. L. Mencken, *The American Language*, I, p. 352 に、“The old *ax* for *ask* is now confined to a few dialects; in the current vulgate *ast* is substituted for it.”と述べている。又 John S. Farmer, *Americanisms — Old & New*, p. 27には、“This form of the verb has descended unmutated from Anglo-Saxon times, and is still a provincialism in some parts of England.”と述べられている。先ずスコットランド生まれのイギリスの作家、L. R. Stevenson (1850-94) の作品の中にこの語の使用例が見られる。一例を挙げると、

“Captain Smollett, sir, **axing** (= asking) to speak with you,” said he.

——Robert Louis Stevenson, *Treasure Island*.

次にアメリカの作家の作品からも用例を挙げておく。

Only don't never **ax** (= ask) me nothin about Mister Sansom.

——Truman Capote, *Other Voices, Other Rooms*.

Whut you fixin to **ax** me kin you do now ?

——William Faulkner, *The Sound and the Fury*.

I'd do anythin' ye **axed** (= asked) , I tell ye !

——Eugene O'Neill, *Desire Under the Elms*.

abide    abided, or abode    abided, or abode

In this by-place of nature, there **abode** (= abided), in a remote period of American history, that is to say, some thirty years since, a worthy weight of the name of Ichabode Crane; who sojourned, or , as he expressed it, 'tarried', in Sleepy Hollow, for the purpose of instructing the children of the vicinity.

——Washington Irving, *The Legend of Sleepy Hollow*.

become    becomed    becomed

I met the youthful lord at Laurence' cell,  
And gave him what **becomed** (= became = suitable) love I might,  
Not stepping o'er the bounds of modesty.

——William Shakespeare, *The Tragedy of Romeo and Juliet*, IV. ii. 25-27.

A good rebuke,  
Which might have well **becomed** (= become) the best of men,  
To taunt at slackness.

——*Id.*, *The Tragedy of Antony and Cleopatra*, III. vii. 27-29.

build    builded    builded

大塚高信著『シェークスピア及び聖書の英語』（112ページ）に“builded”について、「現代英語で不規則変化動詞であるものが、シェークスピア時代には規則変化動詞として用いたものである」と述べ、イギリスの劇作家・詩人 William Shakespeare (1564-1616) からの例として“bended, blended, builded, gilded, girded, beated, becomed, blowed, hewed, shaken, weaved, caught”を挙げている。これに伴ってシェークスピアの作品からこの語の使用例を挙げると、

Most noble Antony,  
Let not the piece of virtue which is set  
Betwixt us as the cement of our love,  
To keep it **builded**, be the ram to batter  
The fortress of it.      ——*Id.*, *The Tragedy of Antony and Cleopatra*, III. ii. 27-31.

Whoever built the house, he **builded** (= built) better than he knew; or else Orion in the Zenith flashed down his Damocles' sword to him some starry night, and said, "Build there."      ——Harman Melville, *The Piazza Tales*.

Had nature, is that deep hour, become a worshipper in the house which man had

**builded** (= built) ? ———Nathaniel Hawthorn, *My Kinsman, Major Molineux*.

catch (ketch)      ketched      ketched

H. L. Mencken (*The American Language*, I, p. 161) はアイルランドからの移民がアメリカに持ち込みこの語の普及に力があつたと述べている。また同書 I. p. 429には“catch”に関連して次のような興味深い記述がある。“*Catched*, which was good English in the Eighteenth Century, is in the Lardner, and also in *Huckleberry Finn*, *The Biglow Papers* and Thomas C. Haliburton’s *The Clockmaker*, 1837, but I incline to believe that it is now used relatively seldom. *Cotched* is heard only in the South, and mainly among Negroes. . . *catch* is usually pronounced *ketch*.”尚, c と k の混同は既に13世紀頃から見られるようである。

But one, poor one, one poor and loving child,  
But one thing to rejoice and solace in,  
And cruel death hath **catched** (= caught) it from my sight!

———William Shakespeare, *The Tragedy of Romeo and Juliet*, IV. v. 46-48.

Two year ago they **ketched** (= caught) the thief, 'n' seein' I wuz innercent, . . .

———James Russell Lowell, *The Biglow Papers*.

For would n't the Yankees hev found they'd **ketched** Tartars,  
Ef they 'd raised two sech critters as them into martyrs ?      ——*Ibid.*  
The old man said they must have **ketched** (= caught) him.

———Paul Green, *Dog on the Sun*.

I gwine put you w'ah you won' **ketch** (= catch) col'. He **ketched** (= caught) a frog one day and took him home, and said he cal'lated to educate him; and so he never done nothing for three months but set in his back yard and learn that frog to jump.

———Mark Twain, *The Celebrated Jumping Frog of Calaveras County*.

Well, I **catched** my breath and most fainted.

———*Id.*, *The Adventures of Huckleberry Finn*.

I got skeared when they was all a-shoot' b'hind me an' I run t' beat all, but I **cotch** it pretty bad.      ——Stephen Crane, *An Ominous Baby*.

I was afraid at first I wouldn't **ketch** on how to do in a town big as Memphis.

———William Faulkner, *Two Soldiers*.

I got to **ketch** that early bus in the morning.      ——*Ibid.*

Yes, we **ketched** him—at least me and my daddy did.

——Paul Green, *Dog on the Sun*.

come    comed    comed

“‘comed’ as the perfect participle of ‘to come’ is in Shakespeare” と H. L. Mencken, *The American Language*, I (p. 436) に述べられている。

It was Mrs. Newberry who **comed** (= came) in to you just by now, because she wanted to see if you was good-looking.

——Thomas Hardy, *The Distracted Preacher*.

fotch, fetch    fotched    fotched

John S. Farmer, *Americanisms—Old & New* (p. 251) に ‘Negroes corruptions for “fetch and fetched”’ と説明されている。更に詳しく Schele De Vere, *Americanisms* (p. 470) は “in the sense of performing, as in the South’s: ‘He *fetches* his blows quick and sure,’ is still in use in the South. Since, with an arm no bigger than the round of a chair, you *fetched* the old schoolmaster the famous lick, plump in the black of his eyes. But in the sense of bringing, the word may be said to be almost unknown there: on the other hand it is, curiously enough, used for bringing up: ‘How you were the child of a missionary, and from your cradle had been *fetched* up for the work. The very old participle, *fotch*, still continues in use among low people, and is very general among the negroes of the South.’ They are almost all on ‘em, sir, straight down from old Diomed, that old master Hoomes had *fotch* out from England, across the water, more than twenty years ago. Nor is the hybrid *fotched* wanting: ‘I was soon *fotched* up in the victualling line.’” と用例を交えて説明している。

I was soon **fotch’d** up in the victualling line—and I busted for the benefit of my creditors.

——John S. Farmer, *Americanisms —Old & New*.

“What did you **fotch** them up here for?” she asked.

——Lucy Furman, *The Square Women*.

They loaded him up with the goods an’ **fotched** (= fetched) him ter the shop.

——Mary Noailles Murfree, *In the Tennessee Mountains*.

give    gived    gived

‘Why didn’t we know of this before he came, that we might have **gi’ed** (= given) him a warmer welcome!                      ——Thomas Hardy, *The Distracted Preacher*.

go    goed    goed

When us **goe’d** (= went) a nesting after ardiestraws.

——John Masefield, *The Tragedy of Nan*.

grow    grewed    grewed

That I **growed** (= grew) up a man and not a brute, says something for me

——Chares Dickens, *The Chimes*.

“None, I’m Powell, the secont one, only I’ve **growed** (= grown) some since then and my daddy he’s daid now. Done died.” ——Flannery O’Connor, *A Circle in the Fire*.

hear    heard    heard

“Can’t say I were **heard** (= heard) dat name.”

——Bernard Malamud, *Angel Levine*.

但しこの語には不規則変化活用を併有する動詞の例もある。

I **heern** (= heard) a horn, thanks I it ’s Sol the fisher-man hez come again,

——James Russell Lowell, *The Biglow Papers*.

From what I hev **hearn** (= heard) tell, I jedge he air obleeged ter die.

——Mary Noailles Murfree, *In the Tennessee Mountains*.

I misdoubted ye when I **hearn** (= heard) how ye fit, that day, yander ter the mill; an’ they do say ez even Pete Blenkins air plumb afeard ter jaw at ye, nowadays, on ‘count o’ yer fightin’ an’ quar’lin’ ways.                      ——*Ibid.*

From what I hev **hearn** (= heard) tell, I jedge he air obleeged ter die.                      ——*Ibid.*

help    holp or holped    holp or holped

この語の活用変化について、John S. Farmer (*Americanisms Old & New*, p. 301) は、“**holp**, **holped**, **holpen** で、“The last-named ‘holp’ is old participle of *help*. This, however, is less frequently heard than the other archaic forms.. Amongst Southern negroes the corruption



*holped*, itself the preterite of the mongrel 'holp,' is frequent.”と述べている。また Sylva Clapin の *A New Dictionary of Americanisms*, p. 230 には “Old archaic preterites of 'help,' still sometimes heard, 'holpen' being however the least frequently met with.” 更に Schele De Vere, *Americanisms*, p. 489 では “*Holpen*, the old participle, like *holden*, is still often heard, especially in Kentucky, while in Virginia and by the negroes of the South a mongrel form, *holped*, is made for the Preterite of *I hope*, which there takes the place of *I help*.” と解説している。OED は更に詳しく, “Of the strong inflexions, the normal ME past tense singular was *holp*; the plural was *holp* (e, which c 1500 was extended also to the singular, and continued in frequent use till 17th century; it is now a rare archaism. The past participle *holpen*, kept alive by biblical and liturgical use, is still employed by poets and archaists; from 14th to 17th century it occurs shortened to *holp(e)*. The weak inflexion *helped* is found from 1300, and has gradually become the usual form.” と解説している。例を挙げると,

Now voucheth sauf that I may you devise  
How that I may been **holpe**, and in what wis:

——Geoffrey Chaucer, *The Franklin's Tale*, 315-6.

The holy blistful martyr for to seeke  
That hem hath **holpen** what that they were seke,

——*Id.*, *The Canterbury Tales: The General Prologue*, 17-8.

For my brother, I think he holds you well, and in dearness of heart hath **holp** (= helped) to effect your ensuing marriage —surely suit ill spent and labor ill bestowed.

——William Shakespeare, *Much Ado about Nothing*, III. ii. 99-103.

The scourge of greatness to be used on it,  
And that same greatness too which our own hands  
Have **holp** (= helped) to make so portly.

——*Id.*, *The First Part of King Henry the Fourth*, I. iii. 12-13.

I hope ye never **holped** (= helped) ter burglarize the stove, too; but 't ain't fur me ter say.

——A. B. Longstreet, *Georgia Scenes*.

They were so much company for me, and **holped** (= helped) up my sperrits so, and larned me so much I never knowed.

——*Ibid.*

Oh, they gin' her a 'bundance o' truck; I don'tknow what all; and none of 'em **holp** her at all.

——*Ibid.*

“You couldn’t have **holp** it.” I say. ———William Faulkner, *As I Lay Dying*.

Then I taken my slingshot and I would have liked to took all my bird eggs, too, because Pete had give me his collection and he **holp** me with mine, and he would like to git the box out and look at them as good as I would, even if he was nigh twenty years old. ———*Id.*, *Two Soldiers*.

know    knowed    knowed

There! I **knowed** (= knew) he was a plain-clothes copper.

————Bernard Shaw, *Pygmalion*.

To think as he **knowed** (= knew) ’ee when you were a little un.

————John Masefield, *The Tragedy of Nan*.

Before the cops **knowed** (= knew) what hit ’em Ras is right in the middle of ’em and one cop grabbed for that spear, and ole Ras swung ’round and bust him across the head and the cop goes down and... ———Ralph Ellison, *Invisible Man*.

run    runned    runned

So she hrried overmuch **runned** (= ran) up the hill, which at her time of life she ought not to have done. ———Thomas Hardy, *Old Mrs Chundle*.

wend    wended    wended

Then, as he **wended** (= went) his way, by swamp and stream and awful woodland, to the farmhouse where he happened to be quartered, every sound of nature, at that witching hour, fluttered his excited imagination: the moan of the whip-poor-will from the hill-side; the boding cry of the tree-toad, that harbinger of storm; the dreary hooting of the screech-owl; or the sudden rustling in the thicket of birds frightened from their roost. ———Washington Irving, *The Legend of Sleepy Hollow*.

“wended” は wend の古い過去形。現在は詩語としてのみ用いられているようである。

(2) 規則変化活用動詞の過去及び過去分詞の語尾が“-d”で終わる活用変化の動詞の例

clothe    clad    clad

drow    drownd    drownd

hear    heard    heard

ride    rid    rid

see      seed      seed

A woman **clad** (=clothed) in armor chaseth them.

——William Shakespeare, *The First Part of Henry the Sixth*, I. v. 3.

*Dialect Notes* I (p. 236) に“hear”の過去、過去分詞は“obsolete form of heard”であると記載されている。

また H. L. Mencken, *The American Language*, I (p. 432) には俗語・方言の活用変化の表の中に“hear”が記載されている。

heer (= hear)      heerd, or hern, heern      heerd, or hern, heern

I've **heerd** (= heard) say; but there an't weather in picters, and maybe 'tis fitter for that, than for a place to live in.      ——Chares Dickens, *The Chimes*.

You ain't't **heerd** (= heard) about him going crazy ?

——Marjorie Kinnan Rawlings, *When the Whippoorwill*—.

“I **heerd** him! Oh my God, Drenna!”      ——*Ibid.*

There's nary a man livin', Jody, has even **heered** (= heard) his grand-pappy say he'd ever seed a Spaniard.      ——*Id.*, *The Yearling*.

Oh, I've **heerd** ye!      ——Eugene O'Neill, *Desire Under the Elms*.

Waal, While they's life they's allus hope, I've **heerd** tell.      ——*Ibid.*

You ain't't **heerd** (= heard) about him going crazy ?

——Marjorie Kinnan Rawlings, *When the Whippoorwill*—.

ride      rid      rid

He hath **rid** (= ridden) his prologue like a rough colt, he knows not the stop, but to speak true.

——William Shakespeare, *A Midsummer Night's Dream*, V. i. 119-10.

see      seed (zeed)      seed (zeed)

“He's helping to wait at the Moon and Stars. I **seed** (= saw) him through that black tin stuff wi' holes in, on the window, wi' his sleeves rolled up.”

——D. H. Lawrence, *Sons and Lovers*.

If I ain't **seed** (= seen) you somer'r's, I'm mighty much mistaken.

——J. C. Harris, *The Kidnapping of President Lincoln*.

Then, when he come back home, hit wa'n't no time till him and Darcy was a-warring nigh as bad as their paws had been; and for two year we hain't seed (= seen) naught but trouble, and I have looked every day for Fulty to be fotched in dead. ———Lucy Furman, *The Quare Women*.

'Ever hear the tale of the Old gal who heard I was dead and buried, and then seed (= saw) me in "The Swan" ? She never touched another drop.'

————Herbert E. Bates, *The Death of Uncle Silas*.

"Well, Miss Narcy," she said, "we ain't seed you in a mont'. you come all de way in de rain ?"

————William Faulkner, *Sartoris*.

Ah, m it is the minister ! —You two that can't do anything had better get indoors and not be zeed (= seen).

————Thomas Hardy, *The Distracted Preacher*.

この語形は *Dialect Notes* III. v. (p. 367) によると Alabama では "very common among the illiterate" と記述している。

#### 4-2 不規則変化活用動詞 (Irregular Verbs)

「動詞の過去、過去分詞を作るのに語尾に "-ed" の添加によらず、あるものは語幹の母音を変化し、あるものは全然変化せずに、その様式は多種多様である」と、市川三喜編『英語学辞典』(227ページ) に述べられている。その活用変化の種類には次の3種類がある。

##### (1) 子音の変化

動詞の過去、過去分詞の語尾が "-t" で終わる活用変化の動詞の例

動詞の語尾に "-t" を添加する。

ask (ax)	ast	ast
blow	blownt	blownt
burn	burnt	burnt
clean	cleant	cleant
dare	durst	durst
fight	fit	fit
kill	kilt	kilt
send	sont	sont
think	thot	thot

使用例を挙げると、

“What’s de use to **ax** (= ask) dat question? Don’t you see I has?”

——Mark Twain, *The Adventures of Huckleberry Finn*.

She say she spec’ Mars Tom gwine to **ax** me to whitewash, an’ so she tole me go  
’ling an’ ’tend to my own business —’lowed she’d ’tend to de whitewashin’.

——*Id.*, *The Adventures of Tom Sawyer*.

I wanna **ast** (= ask) you —well, you think a fella could bring bad luck to folks?

——John Steinbeck, *The Grapes of Wrath*.

“The boys went to **ast** you something,” he said to Bailey.

——Flannery O’Connor, *Good Country People*.

“ask”はOE時代から存在していて、その語源はOE *ascian*, *axian*で“ax”は音韻転換 (sk → ks) の典型的な例である。又“ast”について *OED* は“obsolete or dialectal form of ask”と説明して、“Down to nearly 1600 the regular literary form, and still used everywhere”と記述している。又 Schele De Vere (*Americanisms*, p. 437) は“axe”について次のように述べている。参考までに引用すると、“*Axe*, instead of ask, survives with astonishing vitality in Southern speech, and is almost uniformly used by the negro population. It has, of course, the warrant of great antiquity and noble patronage, for, coming unchanged from the Anglo-Saxon, it was used as the legitimate form by the highest in the land down to Queen Elizabeth. “*Axe* not why,” says Chaucer’s Miller, and in the Frere’s Tale we read: *Axe* him thysel if thou not trowest me. After that period it was abandoned by the Court, but the common people continued its use and brought it to this country. The Cockney and the Norfolk hind use *axe* as exclusively as the poor white folks and the freedmen of the South. It has, besides, been well said that “for purposes of lyric poetry and musical compositions *axed* would be infinitely preferable to the harsh sound *asked*, which no vocalist can pronounce without a painful gasp.”と詳しく解説している。

“We’re all going to be **blownt** (= blown) to hell, let alone your horse, the girl said.”

——J. C. Oates, *Upon the Sweeping Flood*.

My inch of taper will be **burnt** (= burned) and done,

And blindfold death not let me see my son.

——William Shakespeare, *The Second Part of King Richard*, I. iii. 223-4.



I **cleant** (= cleaned) hit a little while back. You remember when all dat flood-watwer wash dem folks away up yonder ? I **cleant** hit dat ve'y day. Old woman and me setting fore de fire dat night and she say "Louis, whut you gwine do ef dat flood git out dis fur ?" ———William Faulkner, *The Sound and the Fury*.

We done jest that. I **cleant** (= cleaned) dat lantun and me and her sot (= sat) de balance of de night on top o dat knoll back de graveyard. ———*Ibid.*

This none but he **durst** (= dared) do.

———Harman Melville, *The Piazza Tales*.

"Yet shall they not escape so freely all;  
For some shall pay the price of others guilt:  
And he the man that made Sans for to fall,  
Shall with his owne bloud price that he hath spilt.  
But what art thou, that telst of Nephews **kilt** ?"

———Geoffrey Chaucer, *The Faerie Queene*, i. V. 226-30.

He is bigger than all them yankees that **kilt** his son and his wife and taken his niggers and ruined his land, bigger than this hyer durn country that he **fit** (= fought) for and that has denied him into keeping a little country store; bigger than the denial which hit helt to his lips like the bitter cup in the Book.

———William Faulkner, *Wash*.

"I guess you **kilt** (= killed) 'em dodgin' rollin' pins and flatirons."

———*Id.*, *The Wishing Tree*.

"You want to get yourself **kilt** ? Do you ?"

———J. C. Oates, *The Survival of Childhood*.

think    thot    thot

Fust I **thot** (= thought) you was deaf and dumb, then I **thot** you was sick or crazy, or suthing, and then by and by I begin to reckon you was a passel of sickly fools that couldn't think of nothing to say. ———Mark Twain, *Roughing it*.

## (2) 母音の変化

begin    begun    begun

元来は OE における過去複数形 *gunnon* の形からきたもので、方言には今尚普通に用いら

れている。

He bears too great a mind. But this same day  
Must end that work the ides of March **begun** (= began) ,  
And whether we shall meet again I know not.

——William Shakespeare, *The Tragedy of Julius Caesar*, v. I. 113-5.

A great while ago the world **begun** (= began) ,  
With hey, ho, the wind and the rain,  
But that's all one, our play is done,  
And we'll strive to please you every day.

——*Id.*, *Twelfth Night, or What You Will*, V. i. 414-7.

Then she **begun** (= began) to cry again, talking about how her own flesh and blood  
rose up to curse her.

——William Faulkner, *The Sound and the Fury*.

break broke broke

Miranda. — O my father,  
I have **broke** (= broken) your hest to say so !

——William Shakespeare, *The Tempest*, III. i. 37-8.

drink drunk drunk

Give me a cup of sack. I am a rougue if I **drunk** (= drank) today.

——*Id.*, *The First Part of King Henry the Fourth*, III. iv. 168.

sing sang sang

All I know is I ends up singin' the blues, I sings me some blues that night ain't  
never been **sang** (= sung) before, and while I'm singin' them blues I makes up my  
mind that I ain't nobody but myself and ain't nothin' I can do but let whatever is  
gonna happen, happen.

——Ralph Ellison, *Invisible Man*.

### (3) 子音及び母音の変化

choose chose chose

How now, my masters! Have you **chose** (= chosen) this man ?

——William Shakespeare, *The Tragedy of Coriolanus*, II. iii. 163.

mistake    mistook    mistook

What cause of suspicion? Out upon you ! How am I **mistook** (= mistaken) you!

——*Id.*, *The Merry Wives of Windsor*, III. iii. 111.

speak    spoke    spoke

They are not yet come back. But I have **spoke** (= spoken)

With one that saw him die, who did report

That very frankly he confessed his treasons,

I plored your Highness's pardon, and set forth

A deep repentance.

——*Id.*, *The Tragedy of Macbeth*, I. iv. 3-7.

I hope you will consider what is **spoke** (= spoken)

Comes from my love, but I do see you're moved.

——*Id.*, *The Tragedy of Othello, the Moor of Venice*, III. iii. 216-7.

steal    stole    stole

Nor for your neither. You've ungently, Brutus,

**Stole** (= stolen) from my bed.

——*Id.*, *The Tragedy of Julius Caesar*, II. i. 236-8.

tell    tole    tole

この語形について, H. L. Mencken, *The American English*, I. p. 352に “The American plain people have some difficulty with *t* and *d*. They add a *t* to *close*, *wish* and *once*, and displace *d* with *t* in *hold*, which becmes *holt*. In *told* and *old* they abandon the *d* altogether, preferring *tole* and *ole*.” と興味ある説を展開している。因みにこれに関連した使用例を文学作品から挙げると,

Then I gits so scared that I throws her on the bed and tries to break her **holt** (= hold).

——Ralph Ellison, *Invisible Man*.

... , and I **tole** (= told) him and he called in some more men and they made me tell it again.

——*Ibid.*

It sounds like a woman who was watchin' a team of wild horses run down her baby **chile** (= child) and she caint move.

——*Ibid.*

## (4) 無変化

come    come    come

H. L. Mencken は *The American Language*, p. 430で “Come as the preterite is very old, but *came* as the past participle is apparently recent.” と述べている。

All he **come** (= came) here for was to touch you for some money to get drunk on.

——Bernard Shaw, *Pygmalion*.

My mother was Fanny Jesup and she **come** (= came) from Cheehaw.

——Carson, McCullers, *The Ballad of the Sad Cafe*.

When we **come** (= came) back the road was so thick with sightseers from the cities!

——J. C. Oates, *Upon the Sweeping Flood*.

He was above bein' a sea-farin' man, an' prospereed more than most; he **come** (= came) of a highly family, an' my lot was plain an' hard-workin'.

——Sarah Orne Jewett, *The Country of the Pointed Firs*.

drug    drug    drug

It's a curious thing, a mighty peculiar thing, how often a man that rises to high public office is **drug** (= dragged) back down by every soul he harbours under his roof.

——Tennessee Williams, *Sweet Bird of Youth*.

You couldn't have **drug** the river a foot without me.

——Edora Welty, *The Wide Net*.

git    git    git

Now you **git** (= get) out at Cottonwood, you fellers, and lay over a couple o' days, and I'll be along some time to-night, and if I can do ye any good by edgin' in a word now and then, I'm right thar.

——Mark Twain, *Roughing It*.

run    run    run

I **run** to meet 'em from a child, an' William, he'd take an' **run** (= ran) away.

——Sarah Orne Jewett, *The Country of the Pointed Firs*.

see    see    see

He'd give him a little punch behind, and the next minute you'd see that frog whirling in the air like a doughnut — see (= saw) him turn one summerset, or maybe a couple, if he got a good start, and come down flat-footed and all right, like a cat.

——Mark Twain, *The Celebrated Jumping Frog of Calaveras County*.

shet shet shet

“You shet (= shut) up, Bainie,” said her mother.

——Fielding Burke, *Call Home the Heart*.

Some o' these days they won't git the door shet quick enough, an' the whole lake o' brimstone 'll roll out.

——*Id.*, *A Stone Came Rolling*.

set set set

“Git in, and set (= sit) still until your maw come.”

——William Faulkner, *The Sound and the Fury*.

#### 4-3 過去, 過去分詞の活用変化が同型の例

(1) Charles Carpenter Fries 先生が *American English Grammar*, (pp. 60-61) で「現代英語に残っている195のうち過去と過去分詞が同型の動詞は153もある」と述べている。又 H. L. Mencken, *The American Language*, I (p. 441) によれば, 過去及び過去分詞形が同じであることについて, “In the case of certain strong verbs, says Menner, the substitution of the perfect participle for the preterite originated in a confusion between the singular and plural forms of the preterite, which were once distinct.” と述べている。

その内いくつかを挙げると,

abide	abode	abode
“abide (= live)”		
begin	begun	begun
break	broke	broke
bring	brung	brung
catch	cotch	cotch
choose	chose	chose
cleave	clove	clove
climb	clumb	clumb



clothe	clad	clad
dare	dared, durst	dared
do	done	done
eat	ate (et)	ate (et)
fetch	fotch	fotch
hear	hearn	hearn
help	holp	holp
know	known	known
see	seen	seen
show	shown	shown
sit (set)	sot	sot
take	taken	taken
tell	tole	tole

H. L. Mencken (*The American Language*, I. p. 438) は“tole”について下記のように述べている。“In the case of *tole*, which I almost always hear in place of *told*, there is a leaping of steps, which I almost always hear in place of *told*, there is a leaping of steps. The *d* is got rid by assimilation with *l* and without any transitional use of *t*.”

throw	thrown	thrown
undertake	undertaken	undertaken
write	writ	writ

以上の動詞の語形について以下に一括して使用例を挙げると、

In this by-place of nature, there **abode** (= abided, lived) in a remote period of American history, that is to say, some thirty years since, a worthy wight of the name of Ichabode Crane; who sojourned, or, as he expressed it, in Sleepy Hollow, for the purpose of instructing the children of the vicinity.

——Washington Irving, *The Legend of Sleepy Hollow*.

“He et (= ate) ’em,” Sandra reported intelligently.

——Jerome David Salinger, *Down at the Dinghy*.

Upon more closely examining the place, I surmised that for an indefinite period

Bartleby must have **ate** (= eaten) , dressed, and slept in my office, and that, too, without plate, mirror, or bed. ———Herman Melville, *Bartleby*.

Versh said, 'He done **et** (= eaten) all that.'

————William Faulkner, *The Sound and the Fury*.

What matters is that around the third year a curious thing **begun** (= began) to happen to me. ———Carson McCullers, *A Tree. A Rock. A Cloud*.

'I heard a squinch owl that night,' T. P. said. 'Dan wouldn't come and get his supper, neither. Wouldn't come no closer than the barn. **Begun** (= Began) howling right after dark. Versh heard him.' ———William Faulkner, *The Sound and the Fury*.

En dey **brung** (= brang) dat all de way fum Saint Looley. 'Frony whispered.

————*Ibid.*

It's most uncommon lucky, becuz it's so nation dark I should 'a' gone by unbeknowns if that air thoroughbrace hadn't **broke** (= broken).

————Mark Twain, *Roughing It*.

But one, poor one, one poor and loving child,

But one thing to rejoice and solace in,

But she is not quite the one that my father would have **chose** (= chosen) for me — you know the paternal idea as well as I and I have kept it secret.

————Thomas Hardy, *The Melancholy Hussar*.

A boy **clad** (= clothed) in a blue shirt leaped from the wagon and attempted to drag after him one of the maidens who screamed and protesed shrilly.

————Sherwood Anderson, *Hands*.

The two were **clad** (= clothed) in new suits of immaculate duck, with American straw hats, and carried canes of remarkable uniqueness and inutility.

————O. Henry, *Masters of Arts*.

Then he said no, they couldnt a-ketched him, for a coon would go up a tree, and the dogs couldn't **clamb** (= climb) the tree to get at him, so if we'd wait they'd speak again. ———Paul Green, *Dog on the Sun*.

I taken my shoes and drapped them out the window, and then I **clumb** (=climbed) out like I used to watch Pete do when he was still jest seventeen and pap held that he was too young. ———William Faulkner, *The Tall Man*.

By the side of pebbly waters — waters the cheerier for their solitude; beneath swaying fir-boughs, petted by no season, but still green in all, on I journeyed —my

horse and I ; on, by an old saw-mill, bound down and hushed with vines, that his grating voice no more as heard; on, by a deep flume **clove** (= cloven) through snowy marble, vernal-tinted, where freshet eddies had, on each side, spun out empty chapels in the living rock; ———Harman Melville, *The Piazza Tales*.

I get skeared when they was all a-shootin' b'hind me an' I run t' beat all, But I **cotch** (= caught) it pretty bad. ———Stephen Crane, *The Red Badge of Courage*.

I suppose Nan let you in ? Miss Nan **done** (= did).

———John Masefield, *The Tregedy of Nan*.

“That’s mighty nice of you, Martha,” he said, turning around and gazing at her wistfully, “and I sure do appreciate what you **done** (= did) for me . . .”

———Erskine Caldwell, *Uncle Ned’s Short Story*.

Goodman Brown alternately crouched and stood on tiptoe, pulling aside the branches and thrusting forth his head as far as he **durst** (= dared) without discerning so much as a shadow. ———Nathaniel Hawthorne, *Young Goodman Brown*.

“I wuz huntin possums in dis country when dey was still **drowndin** (= drown) nits in yo pappy’s head wid coal oil,” ouis said. “I’ll paste yeh when I **ketch** yeh ! ” he shouted, and disappeared. ———Stephen Crane, *Maggie: A Girl of the Streets*.

Versh said, “He **done et** (= has already eaten) all that.”

———William Faulkner, *The Sound and the Fury*.

An’ when they fund out ez ‘Vander head never **hearn** (= heard) on sech, but jes’ got the idee out ‘n his own foolishness, they jes’ starved at one another.

———Mary Noailles Murfree, *In the Tennessee Mountains*.

I **heern** (= heard) a horn, thinks I it’s Sol the fisher-man hez come again, . . .

———James Russell Lowell, *The Biglow Papers*.

Waal, while they’s life they’s allus hope, I’ve **heerd** (= heard) tell, Honey, you got me in trouble nd I don’t even know you.

———Joyce Carol Oate, *The Voyage to Rosewood*.

Oh, they gin’ her a ‘bundance o’ truck; I don’t know what all; and none of ‘em **holp** (= help) her at all. ———A. B. Longstreet, *Georgia Scenes*.

Then I taken my slingshot and I would have liked to took all my bird eggs, too, because Pete had give me his collection and he **holp** me with mine, and he would like to git the box out and look at them as good as I would, even if he was nigh twenty years old. ———William Faulkner, *Two Soldiers*.

Oh, they gin' her a 'bundance o' truck; I don't know what all; and none of 'em **holp** her at all. ———A. B. Longstreet, *Georgia Scenes*.

"I **known** (= knew) it," he muttered, sitting up. "You're just playing me for a sucker." ———Flannery O'Connor, *Good Country People*.

As I remember that the next one is to be how Gerald throws his nigger downstairs and how the nigger plead to be allowed to matriculate in the divinity school to be near marster marse gerald and How he ran all the way to the station beside the carriage with tears in his eyes when marse gerald **rid** (= rode) away I will wait until the day for the one about the sawmill husband came to the kitchen door with a shotgun Gerald went down and bit the gun in two and handed it back and wiped his hands on a silk handkerchief threw the handkerchief in the stove I've only heard that one twice. ———William Faulkner, *The Sound and the Fury*.

Maybe you **seen** (= saw) me around here before.

———Joyce Carol Oates, *Four Summers*.

"You never even **seen** him," Ma says.

———*Ibid.*

"I **seen** (= saw) Mr. Crane yestiddy," said Mr. Penreddy.

———Katherine Mansfield, *The Voyage*.

'I **seen** (= saw) him last Sunday, didn't I? the original waiter said.'

———Ernest Hemingway, *Men Without Women*.

"... Of course," he said, "they never **shown** (= showed) me my papers."

———Flannery O'Connor, *A Good Man is Hard to Find*.

And wake him and he **sets** (= sit) up and says, "Awright, white folks. Ah done it. Jest dont lock me up, "and Maydew says, "Mr. Birdsong's kinfoles aint going to look you up neither." ———William Faulkner, *Pantaloon in Black*.

"We done jest that. I cleant dat lantun and me and her **sot** (= sat) de balance of de night on top o dat knoll de graveyard..."

———*Id.*, *The Sound of the Fury*.

I wish he never was born! I wish he'd die this minit! I wish I'd never **sot** (= set) eyes on him! It's him —yew havin' him—a-purpose t' steal —that's changed everythin'! ———Eugene O'Neill, *Desire Under the Elms*.

Hit **taken** (= took) three or four of them to drag him offen me, with Major turned in his chair with a set of threes in his hand, a-hammering on the table and hollering cusses. ———William Faulkner, *A Bear Hunt*.

“Yes’m,” The Misfit said as if he agreed. “Jesus **thrown** (= threw) everything off balance. . . .”  
 ——Flannery O’Connor, *A Good Man is hard to Find*.

“I tried,” the Negro cried. “I **tole** (= told) him to —”

——William Faulkner, *Barn Burning*.

Dat Tom, de barber, he **tole** (= told) me dat make me white, if I drink enough.

——Eugene O’Neill, *All God’s Chillun Got Wings*.

We would not let him be **took** (= taken).

——Thomas Hardy, *The Distracted Preacher*.

“Now,” he pursued, “you remember what you’ve **undertook** (= undertaken) , and you remember that young man, and you get home ! ”

——Charles Dickens, *Great Expectations*.

I’ve had it **writ** (= written) out an’ ready in case ye’d ever go.

——Eugene O’Neil, *Desire Under the Elms*.

(2) 大塚高信著『シェークスピア及び聖書の英語』(111ページ)では、過去分詞の語尾“-en”の脱落によって出来た形が過去、過去分詞として使われると説明されている。過去の例として writ (= wrote) , see (= saw) , bid (= bade) , drive (= drove) , 過去分詞の例として writ (= written) , chose (= chosen) , beat (= beaten) , chid (= chidden) , eat (= eaten) , hid (= hidden) , trod (= trodden) が挙げられている。シェークスピアからの用例を挙げると、

As you enjoined me, I have **writ** (= written) your letter  
 Unto the secret nameless friend of yours,  
 which I was much unwilling to proceed in,  
 But for my duty to your ladyship.

——William Shakespeare, *The Two Gentlemen of Verona*, II. i. 110-113.

I’ve had it **writ** (= written) out an’ ready in case ye’d ever go.

——Eugene. O’Neil, *Desire Under the Elms*.

How now, my masters! Have you **chose** (= chosen) this man ?

——William Shakespeare, *The Tragedy of Coriolanus*, II. iii. 163.

A callat  
 Of boundless tongue, who late hath **beat** (= beaten) her husband  
 And now baits me! ——*Id.*, *The Winter’s Tale*, 90-92.  
 Richard not far from hence hath **hid** (= hidden) his head

——*Id.*, *The Tragedy of King Richard the Second*, III. iii. 6.

(3) 過去形をそのまま過去分詞として用いる。

大塚高信著『シェークスピア及び聖書の英語』(111ページ)に例として, drove (= driven), fell (= fallen), forsook (= forsaken), rode (= ridden), shook (= shaken), smote (= smitten), stroke (= stricken), swam (= swum), took (= taken), mistook (= mistaken) などが挙げられている。他に sang (= sung) がある。用例を挙げると,

Ten masts at each make not the altitude  
Which thou hast perpendicularly **fell** (= fallen).

——*Id.*, *The Tragedy of King Lear*, V. vi. 53-54.

The King himself is **rode** (= ridden) to view their battle.

——*Id.*, *The Life of King Henry the Fifth*, IV. iii. 2.

The round world  
Should have **shook** (shaken) lions into civil streets,  
And citizens to their dens.

——*Id.*, *The Tragedy of Antony and Cleopatra*, V. I. 15-17.

He, being in the vaward, placed behind  
With purpose to relieve and follow them,  
Cowardly fled, not having **struck** (= stricken) one stroke.

——*Id.*, *The First Part of King Henry The Sixth*, i. I. 132-134.

All I know is I ends up singin' the blues, I sings me some blues that night ain't never been **sang** (= sung) before, and while I'm singin' them blues I makes up my mind that I ain't nobody but myself and ain't nothin' I can do but let whatever is gonna happen, happen.

——Ralph Ellison, *Invisible Man*.

We would not let him be **took** (= taken).

——Thomas Hardy, *The Distracted Preacher*.

But then as I stepped over I felt something stir and I **taken** (= took) this second look and there I was straddling this here alligator long as from the front door to the kitchen and thicker than a hog.

——Carson McCullers, *The Ballad of the Sad Cafe*.

## 4-4 古い時代に用いられていた過去分詞形

Shakespeare の作品の中に数多く見られる。過去形をそのまま過去分詞として用いるものとして, drove (= driven), fell (= fallen), rode (= ridden), shook (= shaken), smote (= smitten), stroke (= stricken), swam (= swum), took (= taken), mistook (= mistaken) などが例として大塚高信著『シェークスピア及び聖書の英語』(111ページ)に挙げられている。その他の例として broke (= broken), chose (= chosen), mistook (= mistaken), spoke (= spoken) などがある。

What is your name? —Miranda. —O my father, I have **broke** (= broken) your hest to say so! —William Shakespeare, *The Tempest*, III. i. 37-38.

I have **broke** with her father and his goodwill obtained

——*Id.*, *Much Ado About Nothing*, II. i. 311.

O my father, I have **broke** your hest to say so!

——*Id.*, *The Tempest*, III. i. 37.

O what a time have you **chose** (= chosen) out, have Cius, . . .

——*Id.*, *The Tragedy of Julius Caesar*, II. i. 314.

“Certes,” says he, “I have already **chose** my officer.”

——*Id.*, *The Tragedy of Othello*, I. i. 17.

I wouldn't have **ate** (= eaten) it, only I'm too ladylike to take it out of my mouth.

——Bernard Shaw, *Pygmalion*.

Out upon you! how am I **mistook** (= mistaken) in you!

——*Id.*, *The Merry Wives of Windsor*, III. iii. 111.

Then, Brutus, I have much **mistook** your passion,

——*Id.*, *The Tragedy of Julius Caesar*, I. ii. 48.

What you have **spoke** (= spoken), it may be so perchance.

——*Id.*, *The Tragedy of Macbeth*, IV, iii. 11.

But I have **spoke** With one that saw him die, who did report. ——*Ibid.*, I. iv. 3-4.

I've never **took** (= taken) off all my clothes before. ——Bernard Shaw, *Pygmalion*.

## 4-5 OE. 時代の過去の複数形に由来するもの

大塚高信著『シェークスピア及び聖書の英語』(113ページ)には過去分詞形の類推によって出来た形と説明され, 類例として, run (= ran), begun (= began), clung (= clang), flung (= flang), sung (= sang), wrung (= wrang) などが挙げられている。

Things bad **begun** (= began) make strong themselves by ill

———*William Shakespeare, The Tragedy of Macbeth*, III. ii. 55.

But, orderly to end where I **begun**. ———*Id., The Tragedy of Hamlet*, III. ii. 220.

The all-seeing sun Ne'er saw her match since first the world **begun**.

———*Id., The Tragedy of Romeo and Juliet*, I. ii. 98.

**Begun** (= began) howling right after dark.

———William Faulkner, *The Sound of the Fury*.

I then present, saw them salute on horseback,

Beheld them, when they lighted, how they **clung** (= clang)

In their embracement, as they grew together;

———William Shakespeare, *The Famousse History of the Life of King Henry the Eighth*, I. i. 8-10.

He trod the water,

Whose enmity he **flung** (= flang) aside, and breasted

The surge most swoln that met him. ———*Id., The Tempest*, II. i. 115-117.

To whom he **sung** (= sang) , in rude harsh-sounding rhymes,

To whom he **sung**, in rude harsh-sounding rhymes,

That, ere the next Ascension day at noon,

Your Highness should deliver up your crown.

———*Id., The Life and Death of King John*, 150-152.

And even there, his eyes being big with tears,

Turning his face, he put his hand behind him,

And with affection wondrous sensible

He **wrung** (= wrang) Bassanio's hand, and so they parted.

———*Id., The Merchant of Venice*, II. viii. 46-49.

#### 4-6 過去分詞形の語尾“-en”が脱落して、そのまま過去(又は過去分詞形)として用いられている

大塚高信著『シェークスピア及び聖書の英語』(111ページ)には次のような例が挙げられている。過去: writ (= wrote) , see (= saw) , bid (= bade) , drive (= drove) 過去分詞: write (= written) , chose (= chosen) , beat (= beaten) , chid (= chidden) , hid (= hidden) , trod (= trodden) 。



A callat of boundless tongue, who late hath **beat** (= beaten) her husband and now baits me !  
 ——*Id.*, *The Winter Tale*, II. iii. 90-2.

How now, my masters! Have you **chose** (= chosen) this man ?

——*Id.*, *The Tragedy of Coriolanus*, II. iii. 163.

Maria **writ** (= wrote)

The letter at Sir Toby's great importance,

In recompense whereof he hath married her.

——*Id.*, *Twelfth Night, or What You Will*, V. I. 370-2.

Our father he hath **writ** (= written) , so hath our sister,

Of differences, which I least thought it fit

To answer from our home.

——*Id.*, *The Tragedy of King Lear*, II. i. 124-6.

#### 4-7 過去形をそのまま過去分詞形として用いている

arose (= arisen) , drove (= driven) , forsook (= forsaken) , rode (= ridden) , shook (= shaken) , smote (= smitten) , stroke (= stricken) , swam (= swum) , took (= taken) , mistook (= mistake) などが大塚高信著『シェークスピア及び聖書の英語』(111ページ)に挙げられている。この他に spoke (= poken) がある。

I see we still did meet each other's man,

And I was ta'en for him, and he for me;

And thereupon these errors are **arose** (= arisen).

——*Id.*, *The Comedy of Errors*, V. iii. 386-8.

Hath she **forsook** (= forsaken) so many noble matches,

Her father and her country and her friends,

To be called whore ? Would it not make one weep ?

——*Id.*, *The Tragedy of Othello, the Moor of Venice*, IV. ii. 125-7.

The King himself is **rode** (= ridden) to view their battle.

——*Id.*, *The Life of King Henry the Fifth*, IV. iii. 2.

Alack, why am I sent for to a King

Before I have **shook** (= shaken) off the regal thoughts

Wherewith I reigned ?

——*Id.*, *The Tragedy of King Richard the Second*, IV. i. 163-5.

So sweet a kiss the golden sun gives not

To those fresh morning drops upon the rose,  
As thy eye beams when their fresh rays have smote (= smitten)  
The night of dew that on my cheeks downflows.

———*Id.*, *Love's Labor's Lost*, IV. iii. 26-29.

Why, all the souls that were were forfeit once,  
And He that might the vantage best have took (= taken)  
Found out the remedy.

———*Id.*, *Measure for Measure*, II. ii. 74-5.

Aye, forsooth, I have spoke (= spoken) with her, and we have a nay-word how to  
know one another.

———*Id.*, *The Merry Wives of Windsor*, V. ii. 4-5.

I have inly wept.

Or should have spoke ere this.

———*Id.*, *The Tempest*, V. i. 200-201.

#### 参考文献

- 荒木一雄他 (1982) 『新英語学辞典』 研究社出版。  
 石橋幸太郎 (1959) 『現代英語学辞典』 成美堂。  
 市川三喜 (1954) 『英文法研究』 研究社出版。  
 ——編 (1955) 『英語学辞典』 研究社出版。  
 井上義昌 (1960) 『英米語用法辞典』 開拓者。  
 —— (1966) 『詳解英文法辞典』 開拓者。  
 大橋栄三 (1972) *The Adventures of Huckleberry Finn* 研究社出版。  
 大塚高信 (1951) 『シェイクスピア及び聖書の英語』 研究社出版。  
 —— (1958) 『英文法論考』 研究社出版。  
 ——編 (1970) 『新英文法辞典』 三省堂。  
 河合茂 (1939) 『英文法概論』 京極出版。  
 北原保雄他 (2002) 『日本国語大事典』 第二版小学館。  
 後藤弘樹 (1993) 『Mark Twain のミズーリ方言の研究』 中央大学出版部。  
 —— (1998) 『アメリカ英語方言の語彙の歴史的研究』 中央大学出版部。  
 —— (2004) 『アメリカ北部英語方言の研究』 双魚舎。  
 —— (2005) 『アメリカ中部方言の研究』 私家版。  
 —— (2007) 『アメリカ北部方言の研究』 改訂版 (私家版)。  
 —— (2007) 『アメリカ南部方言の研究』 私家版。  
 —— (2010) 『アメリカ西部方言の研究』 私家版。  
 小西友七 (1977) 『現代英語の文法と背景』 研究社出版。  
 —— (1982) 『アメリカ英語の語法』 研究社出版。  
 —— (2006) 『現代英語語法辞典』 三省堂。  
 斉藤静 (1947) 『英文法概論』 白桃書房。  
 沢田敬也 (1984) 『アメリカ文学方言辞典』 オセアニア出版。  
 清水護編 (1973) 『英文法辞典』 倍風館。  
 杉山忠一 (1998) 『英文法詳解』 学習研究社。

- 竹林滋他 (2002) 『新英和大辞典』第六版 研究社出版。
- 前島儀一郎他共訳 (1983) 『アメリカ語法事典』大修館書店。
- 松波有也他 (1983) 『大修館英語学事典』大修館書店。
- 若田部博哉 (1985) 『英語学大系』IIIB 大修館書店。
- Bartlett, John Russell (1859), *Dictionary of Americanisms*, Boston: Little, Brown and Company.
- (1894), *A Complete Concordance to Shakespeare*, Mass: Macmillan St. Martin's Press.
- Cassidy, Frederic G. and Houston Hall (1996), *Dictionary of American Regional English*, Cambridge: The Belknap Press of Harvard University Press.
- Clapin, Sylva (1902), *A New Dictionary of Americanisms*, New York: Louis Weiss & Co., Publishers.
- Curme, George O. (1931), *Syntax*, Boston: Heath And Company.
- Evans, Bergen and Cornelia Evans (1957), *A Dictionary of Contemporary American usage*, New York: Random House.
- Farmer, John S. (1889), *Americanisms — Old & New*, London: Thomas Poulter & Sons.
- Flexner, Stuart Berg (1976), *I Hear America Talking*, New York: Van Nostrand Reinhold Company.
- Follett, Wilson (1966), *Modern American Usage*, New York: Hill & Wang.
- Fowler, H. W. (1952), *A Dictionary of Modern American Usage*, Oxford: At The Clarendon Press.
- (1965), *A Dictionary of Modern English Usage*, Oxford: Oxford University Press.
- Fowler, H. W. and F. G. Fowler (1956), *The Concise Oxford Dictionary of Current English*, Oxford: At The Clarendon Press.
- Harrison, G. B. Edited (1952), *Shakespeare: Complete Works*, New York: Harcourt, Brace & World, Inc.
- Hendrickson, Robert (2000), *The Facts on File Dictionary of American Regionalisms*, New York: Facts On File, Inc.
- Jespersen, Otto (1965), *A Modern English Grammar*, London: George Allen & Unwin Ltd.
- Marckwardt, Albert H. (1958), *American English*, New York: Oxford University Press.
- Revised By J. L. Dillard (1980), *American English*, New York: Oxford University Press.
- Mencken, H. L. (1936), *The American Language*, New York: Alfred A. Knopf.
- (1945), *The American Language: Supplement one*, New York: Alfred A. Knopf.
- (1948), *The American Language: Supplement two*, New York: Alfred A. Knopf.
- Murray, James A. & Others (1970), *The Oxford English Dictionary*, Oxford: Clarendon Press.
- Nicholson, Margaret (1957), *A Dictionary of American English Usage*, New York: Oxford University Press.
- Partridge, E. (1948), *Usage And Abusage*, London: Routledge.
- (1951), *A Dictionary of Slang and Conventional English*, London: Routledge.
- Perrin, Porter G. (1965), *Writer's Guide and Index to English*, Chicago: Scott, Foresman and Company.
- Ramsay, Robert L. and Frances G. Emberson (1963), *A Mark Twain Lexicon*, New York: Russell & Russell, Inc.
- Reed, C. E. (1967), *Dialects of American English*, Ohio: The World Publishing Company.
- Sweet, Henry (1891), *A New English Grammar*, Oxford: At The Clarendon Press.
- Vere, Schele De (1872), *Americanisms; The English of the New World*, New York: Charles Scribner & Company.
- Wentworth, H. (1944), *American Dialect Dictionary*, New York: Thomas Y. Crowell Company.
- Wright, Joseph (1970), *The English Dialect Dictionary*, Norwich: Fletcher & Son Ltd.